

若葉台地区

小中学校跡地活用検討・調整委員会ニュース 第8号

H24. 8. 10 発行：若葉台地区小中学校跡地活用検討・調整委員会事務局

若葉台地区の小中学校は、平成19年4月に小・中各1校ずつに再編統合されました。その後、学校としての役割を終えた3校の跡地活用を具体的に検討するため、平成20年9月に「若葉台地区小中学校跡地活用検討・調整委員会」が設置され、検討協議を重ねてきました。6月2日（土）第11回検討・調整委員会が開催されましたので主な内容についてお知らせします。

旧若葉台東小学校に整備する特別支援学校（知的障害教育部門高等部）の概要について

教育委員会特別支援教育課から、旧東小に整備する特別支援学校の知的障害教育部門（高等部）の概要について説明がありました。

旧東小には、緑区にある新治特別支援学校（肢体不自由教育部門）が移転整備され、若葉台特別支援学校（仮称）として開設されることになっていますが、併せて知的障害教育部門（高等部）が平成25年4月に開設される予定です。これにより、若葉台特別支援学校（仮称）は、肢体不自由教育部門と知的障害高等部が併設された市内で初めての学校になります。

第11回検討・調整委員会の概要

日時：平成24年6月2日（土）

10:00～12:15

場所：旧若葉台西中学校木工室

- 内容：1 24年度委員の紹介
2 第10回検討・調整委員会議事内容
3 2校の跡地活用整備状況と今後のスケジュールについて
4 その他

●対象生徒

横浜市内在住で、中学校等を卒業した、軽い知的障害等のある生徒で、卒業後社会参加して自立と社会貢献を目指す生徒

●定員

1学年 28人程度 ※入学に当たっては選考（書類、学力、面接等）を行います。

●教育目標

- 1 社会に貢献できる心豊かな人材の育成を目指します。・・・企業就労等による社会参加や自立を図ることと、職業人としての自己実現を目指します。
- 2 社会で生きていくための、コミュニケーション力を育成します。・・・社会の一員として参加し、一人ひとりが豊かな生活の営みができるように必要な力を育てます。
- 3 自己実現を果たすために、基礎学力と基礎体力の向上を目指します。・・・生徒一人ひとりが自己を十分に発揮し、将来社会生活の中で自分らしく、たくましく生き抜いていくための自己選択・自己決定等、自己実現に向けた力を育てます。

●学校の特徴

- 1 キャリア教育の重視：総合的な学習の時間を活用し、自己決定ができる力を育てます。実習を通じて職業意識を育み、働く意欲を高めるとともに、社会マナーを身につけ、就労により社会人として自立できる人物を育成します。
- 2 肢体不自由部門及び地域との連携を重視：行事や休み時間の交流を通して、仲間意識を育み、誰とでもコミュニケーションが図れる人材を育てます。また、学校周辺の若葉台地区の地域住民と積極的に交流を図り、あいさつ・返事・ルールとマナー・場に応じた身だしなみ等に気をつけて、お年寄りや子どもとも笑顔で話すことができるようにします。そして将来、社会人として良好な人間関係を保つための基礎を学びます。
- 3 教科学習の重視：3年間を通じて教科学習に取り組み、社会自立のために必要な内容を精選して、基礎学力・基礎体力を育てます。

【裏面あります】

●入学募集及び選考

入学選考については、保護者及び生徒に十分な理解を得られるよう、詳細な学校説明会を実施します。
また、生徒については通学区域を設けず、市内全域から募集します。平成 25 年度の選考概要は次のとおりです。

<志願資格>

- 軽い知的障害等のある者（療育手帳B2程度が取得可能な者）
- 平成 25 年 3 月に中学校等を卒業見込みの者、または平成 24 年 3 月以降卒業したと認められる者
- 横浜市内に住所を有する者 ■自力通学が可能な者 ■進学相談を受けている者

<選考内容>

- 書類審査 ■学力考査 ■社会行動観察 ■面接 等

<提出書類>

- 入学願書 ■個人票 ■調査票

<日程（予定）>

- 説明会：特別支援教育総合センター 10月9日（火）10：00～
- 出願期間：11月6日（火）～8日（木） 特別支援教育総合センター
- 入学選抜：12月4日（火）・5日（水） 特別支援教育総合センター
- 合否発表：12月10日（月） 特別支援教育総合センター

●問い合わせ等連絡先 開設準備室 教育委員会特別支援教育課 TEL 671-3958

旧若葉台西中学校に関して

旧西中学校については、「文化・芸術・スポーツの市民活動拠点」として整備するため、今年度後半から来年度末にかけて、実施設計、管理運営団体の公募、改修工事等を順次実施していく予定で、現在関係局と調整を進めているという説明が、区役所区政推進課からありました。

平成24年度若葉台地区小中学校跡地活用検討・調整委員会 委員

（敬称略）

委員長	山岸 弘樹（連合自治会会長）	※ 新 は新任
副委員長	南 宏市朗（スポーツ・文化クラブ理事長）	
副委員長	細川 麗子（地区社会福祉協議会会長） 新	
委員	服部 光雄（連合自治会事務局長）	小原 淳治（連合自治会広報理事）
	皆川 猛文（第一自治会会長）	岩城 徹夫（東自治会会長）
	泉妻 輝夫（二丁目南自治会会長）	武笠 信義（北自治会会長）
	田村 八郎（中央自治会会長）	酒井 隆司（とちのき自治会会長） 新
	大野 清志（ゆりのき自治会会長）	松浦 一明（西自治会会長）
	西村 高志（あかね自治会会長） 新	熊谷 善友（もみじ自治会会長） 新
	内山 善彦（青少年指導員協議会会長）	長沼 伸行（体育指導委員協議会会長）
	峰松 雅子（民生委員・児童委員協議会会長）	神尊 克己（スポーツ・文化クラブクラブマネージャー）
	堀 進（若葉台まつりの会会長）	北村 秀雄（旭区老人会連合会若葉台第一支部支部長） 新
	高岡 穎郎（旭区老人会連合会若葉台第二支部支部長）	磯本桂太郎（若葉台小学校PTA会長）
	野宮 克美（若葉台中学校PTA会長）	
オブザーバー	竹内 詩朗（若葉台小学校長）	鈴木 洋一（若葉台中学校長） 新
	石川 敏夫（東小コミュニティハウス館長）	小倉 剛（若葉台管理センター事務局長）
	一ツ谷正範（県住宅供給公社プロジェクト推進室PJ推進課長）	

* 行政関係委員は除く。

■本委員会へのご意見は、ファクスまたはEメールで、下記事務局までお寄せください。

【若葉台地区小中学校跡地活用検討・調整委員会事務局】 旭区役所 区政推進課 地域力推進担当

ファクス：951-3401

Eメール：as-kikaku@city.yokohama.jp

電話：954-6028